

令和 6 年 6 月 4 日現在

機関番号：82610

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2019～2023

課題番号：19H03929

研究課題名（和文）質的研究論文の教育資源提供ネットワークQUARIN-Jの開発

研究課題名（英文）Development of QUARIN-J, a network for providing educational resources for qualitative research papers

研究代表者

萱間 真美（Kayama, Mami）

国立研究開発法人国立国際医療研究センター・国立看護大学校・大学校長

研究者番号：60233988

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 12,900,000円

研究成果の概要（和文）：論文の出版は、論文を執筆する研究者と、論文査読にあたる査読者や、学会の理念をもとに学会誌の特色を出して編集にあたる編集委員、編集委員長との協働作業である。質的研究方法を用いた看護の研究に資する教育資源は、研究者と学会等の双方に提供する必要がある。質的研究方法への期待が高まっている現在、本研究では大学院や学会が活用可能な資源を提供し、大学院間の連携教育や、学会での活用、資源の質を継続的に高め、出版活動全体のレベルを高めていくためのネットワーク開発を目指した。看護系学会誌の編集委員、編集委員長を研究協力者としたワークショップの開催、オンラインサイトの開設を通して資源の提供を行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究で開発したオンラインサイトのコンテンツは、雑誌の特集号にほぼすべての内容を掲載し、質的研究方法を用いた看護学の研究論文の発表に携わる多くの人々がアクセスできるようにした。英文誌に投稿する際に求められる質的研究のガイドラインを和訳したものも含まれており、多くの活用が期待される。研究期間には、実装研究などにおいて質的研究方法への新たな動きもあり、啓発も行った。

研究成果の概要（英文）：Publication of articles is a collaborative effort between the researcher who writes the article, the reviewers who review the article, and the editorial board members and editorial chair who edit the journal based on the philosophy of the academic society and the characteristics of the journal. Educational resources that contribute to the study of nursing using qualitative research methods need to be provided to both researchers and academic societies. As expectations for qualitative research methods are growing, this study aimed to provide resources that can be utilized by graduate schools and academic societies, and to develop a network for collaborative education among academic societies, and continuous improvement of the quality of resources. Resources were provided through workshops held with editorial board members of nursing journals and through the establishment of an online website.

研究分野：精神看護学

キーワード：質的研究方法 看護学 査読 大学院教育 ネットワーキング

様式 C - 19、F - 19 - 1 (共通)

1. 研究開始当初の背景

わが国では、看護系大学院の設置が急速に進んでいる。教員を確保するためには、博士課程で学んだ修士が、比較的早い時期に指導教員として指導にあたっていることが推測される。大学院教育では、疫学的手法を身につけることは基礎的トレーニングとして伝統的にカリキュラムに組み込まれている。質的研究方法の教育を特化して行う大学院は、教授する人材に限られていることもあって限定的である。博士課程で研究方法を教授することは、論文を執筆する研究者を育成すると同時に、指導教員を育成することでもある。さらに、博士号を取得後、論文執筆を経て指導教員となった教員は査読・編集委員として学術誌の編集活動にも参加が求められる。

方法論としての発展の一方、質的研究方法自体も多様化している。理論的前提が異なる研究者間では、前提や用語、結果の解釈に求めるものなどが異なる。そのため、論文査読のプロセスで意見が分かれ、編集委員の調整が難しい場合には、査読が不調に終わることも多くみられる。そのために、査読者によって意見が分かれにくい、無難な結果を目指した分析に留まるケースも見られる。これは、質的研究方法によって得られる知識の質を低下させることにつながる問題である。

2. 研究の目的

研究の目的は、看護学の発展に貢献しうる質的研究を促進し、その成果を研究者、実践者、そして院生が共有し活用するために、これらの有機的な循環を生む教育資源提供ネットワークを開発することであった。教育資源とは、大学院博士課程におけるカリキュラム開発、学会誌を中心とする学術誌の論文査読・編集委員のための教育プログラム開発、査読システムへのコンテンツ提供、それらを統合した情報発信と研究者の組織化であった。

3. 研究の方法

これまで実施した一連の文部科研の助成による研究事業の成果を統合し、大学院教育や学会誌の編集で活用いただくことを構想している。資源の共有方法としては、EQATOR を念頭に、オンラインサイトを構成し、いつでもどこでも利用いただける形を考えた。もちろん、ネットワークづくりには対面で行うワークショップや研修会も計画した。

COVID-19 パンデミックにより、ワークショップの開催はオンラインとし、オンラインサイト作成とサイトを通じた教育資源の共有に力点を置いて研究を実施した。ワークショップの内容は対面・オンライン開催ともに雑誌に掲載し、参加者以外も知識を共有できるようにした。

4. 研究成果

2020年初頭に起きたCOVID-19のパンデミックのため、結果として対面のワークショップは初回のみの実施となった(2019年8月25日、聖路加国際大学 大村進・美枝子記念聖路加臨床学術センター、参加者は29名)。コロナ禍の研究活動は、従来の計画を大きく変更する必要性に迫られた。オンラインミーティングの環境や技術が瞬く間に普及したことや、オンラインワークショップは無料で多くの人たちに提供できるようになったメリットは計り知れない。しかし、ネットワークそのものは、対面でこそできることもある。初回の対面ワークショップでは、看護系の各学会の編集委員長、学会誌担当理事にお声かけをした。グループワークでは査読や編集の困難を他学会、他雑誌と共有していただいた。また、その後の研究活動の研究協力者としても、希望者にその場で情報を登録いただいた。

本研究では、質的研究方法を用いた論文執筆、発表、出版、結果の活用の各プロセスに必要な教育資源を開発し、大学院・学会に提供するためのネットワークを開発することを最終的な目標とする。優れた質的研究が発表されることを研究の大きな目的として、QUARIN-J*2のサイトには、優れた質的研究論文の査読に資することを目的として、次のようなコンテンツを掲載した。

査読委員、編集委員、編集委員長へのインタビュー

- 1 インタビュー調査について
- 2 マニュアルやチェックリスト使用の現状
- 3 査読・編集の困難
- 4 査読・編集の視点
- 5 査読をするうえで気を付けていること
- 6 査読の学び
- 7 良い査読をするための取り組み
- 8 資源

分担研究者が査読者、編集委員、編集委員長として経験した質的研究論文の査読ガイドライン：日本語版 SRQR (Standards for Reporting Qualitative Research)

学位論文指導プログラムリーフレット（研究班作成）

Guidelines for evaluating dissertations for qualitative research methods

（研究班作成）

研究班主催のセミナー記録

オンラインセミナーは、2023年11月23日（祝日）13:30～16:30に開催した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計9件（うち査読付論文 1件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 2件）

1. 著者名 榎 美樹	4. 巻 57-1
2. 論文標題 QUARIN-Jについて	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 看護研究	6. 最初と最後の頁 51
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 グレッグ 美鈴，麻原 きよみ，萱間 真美，木下 康仁，西村 ユミ，山本	4. 巻 57-1
2. 論文標題 ディスカッションとセミナーのまとめ	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 看護研究	6. 最初と最後の頁 46-49
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三浦 友理子	4. 巻 57-
2. 論文標題 看護学における質的研究論文に用いられた方法論の動向	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 看護研究	6. 最初と最後の頁 40-44
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本 則子	4. 巻 57-1
2. 論文標題 「ケアの意味を見つめる事例研究」から考える査読のあり方と科学的厳密性の提案	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 看護研究	6. 最初と最後の頁 30-38
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西村 ユミ	4. 巻 57-1
2. 論文標題 現象学的研究の査読者への期待;解釈学的循環を実現するポイント	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 看護研究	6. 最初と最後の頁 22-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木下 康仁	4. 巻 57-1
2. 論文標題 行為文脈設定型実装研究へ;「実践への示唆」を重視する	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 看護研究	6. 最初と最後の頁 14-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 萱間 真美	4. 巻 57-1
2. 論文標題 研究の背景とセミナーの趣旨	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 看護研究	6. 最初と最後の頁 10-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kayama M,Asahara K,Miura Y, Oyamada K, Sakaki M, Nishimura Y,Yamamoto N, Gureggu M, Kinoshita Y.	4. 巻 23
2. 論文標題 Nurturing nursing science ; Inproved understanding of qualitative research	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 IMPACT ; New Frontiers in Medical Technology	6. 最初と最後の頁 16-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kayama Mami、Aoki Yumi、Matsuo Takahiro、Kobayashi Daiki、Taki Fumika	4. 巻 12
2. 論文標題 Concerns and desires of healthcare workers caring for patients with COVID-19 in April and July 2020 in Japan: a qualitative study of open-ended survey comments	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 BMJ Open	6. 最初と最後の頁 e051335 ~ e051335
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2021-051335	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>看護学の質的研究成果を研究者、実践者、そして院生が共有し活用するための教育資源提供ネットワーク https://quarin.jp/ 看護学の質的研究のための教育資源提供ネットワーク https://quarin.jp/</p>
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	西村 ユミ (Nishimura Yumi) (00257271)	東京都立大学・人間健康科学研究科・教授 (22604)	
研究分担者	木下 康仁 (Kinoshita Yasuhito) (30257159)	聖路加国際大学・大学院看護学研究科・特命教授 (32633)	
研究分担者	グレッグ 美鈴 (Gregg Misuzu) (60326105)	名桜大学・公私立大学の部局等・教授 (28003)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	三浦 友理子 (Miura Yuriko) (70709493)	聖路加国際大学・大学院看護学研究科・講師 (32633)	
研究分担者	小山田 恭子 (Oyamada Kyoko) (70719252)	聖路加国際大学・大学院看護学研究科・教授 (32633)	
研究分担者	麻原 きよみ (Asahara Kiyomi) (80240795)	聖路加国際大学・大学院看護学研究科・教授 (32633)	
研究分担者	山本 則子 (Yamamoto Noriko) (90280924)	東京大学・大学院医学系研究科(医学部)・教授 (12601)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	榎 美樹 (Sakaki Miki) (40826286)	聖路加国際大学・大学院看護学研究科・助教 (32633)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------